

モニタリングによる核種の検出状況

○食品中の放射性物質の検査の概要について・・・1 P
(ヨウ素、セシウム)

平成 23 年 6 月 22 日
(厚生労働省公表資料より作成)

○水産物のストロンチウム測定結果について・・・2 P

平成 23 年 6 月 27 日
(水産庁公表資料より作成)

○東京電力福島第一原子力発電所から 20 km 以遠の土壌における
ストロンチウムの調査結果・・・3 P

平成 23 年 6 月 9 日
(文部科学省公表資料より抜粋)

○福島第一原子力発電所タービン建屋付近のサブドレンからの
ストロンチウムの検出について・・・4 P

平成 23 年 6 月 12 日
(東京電力公表資料より作成)

○福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる
ストロンチウムの分析結果について・・・5 P

平成 23 年 6 月 12 日
(東京電力公表資料より作成)

東日本大震災について～水産物のストロンチウム測定結果について～

水産庁は、東京電力福島第一原子力発電所放水口周辺の海水からストロンチウムが検出されたことを受け、独立行政法人水産総合研究センターと協力してストロンチウムの測定を実施したところ、測定結果は検出下限値未満でした。

水産物のストロンチウム測定結果について

東京電力が5月8日、福島第一原子力発電所放水口周辺から4月18日に採水した海水からストロンチウムを検出したと発表した事を受け、水産庁は、独立行政法人水産総合研究センターにストロンチウムの測定の実施を依頼しました。

独立行政法人水産総合研究センターは、骨ごと食べる習慣のあるもの、過去に放射性セシウムが検出されたもの、ストロンチウムの測定に十分な量が確保されている、ひたちなか沖のコウナゴ、銚子沖のマイワシ、カタクチイワシについて、5月25日に財団法人日本分析センターに測定を依頼しました。

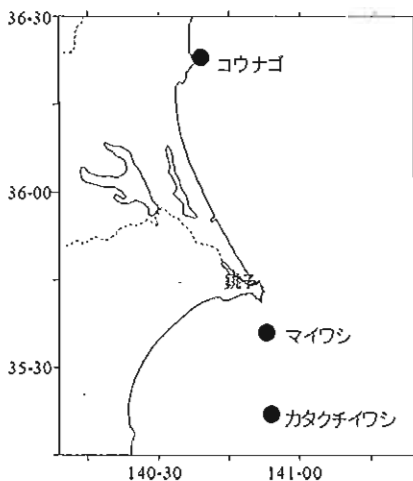
本日、独立行政法人水産総合研究センターからあった報告によれば、ストロンチウムは全て検出下限値未満でした。

ストロンチウムの測定結果

種	位置	採取日	部位	ストロンチウム-90	放射性セシウム	放射性ヨウ素
マイワシ	35°36N, 140°53E	4月6日	魚体丸ごと	不検出 (検出下限値:0.04)	8.5	4.9
イカナゴ (コウナゴ)	36°23N, 140°39E周辺	4月8日	魚体丸ごと	不検出 (検出下限値:0.02)	81	598
イカナゴ (コウナゴ)	36°23N, 140°39E周辺	4月12日	魚体丸ごと	不検出 (検出下限値:0.03)	66	397
カタクチイワシ	35°22N, 140°54E	4月14日	魚体丸ごと	不検出 (検出下限値:0.04)	7.9	不検出

注:マイワシ及びカタクチイワシの放射性セシウム及びヨウ素の測定は筋肉部のみで行った。
放射性物質の単位は、Bq/kg生。

水産物の採集地点



— お問い合わせ先 —
増殖推進部研究指導課
担当者: 森田、一井、大久保
代表: 03-3502-8111(内線6778)
ダイヤルイン: 03-6744-2373
FAX: 03-3591-5314
増殖推進部漁場資源課
担当者: 遠藤、高山

東京電力福島第一原子力発電所から20km以遠の土壌におけるストロンチウムの調査結果

1. 土壌モニタリング結果

測定試料採取点		採取日時 (測定日時)	放射能濃度(Bq/kg)								空間線量 率 (μ Sv/h)	
			^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	$^{129\text{m}}\text{Te}$	^{132}Te	^{136}Cs	^{140}La	Sr		
										89	90	
福島市杉妻町	(62km北西)	4月14日 18:08	6,100	7,900	9,300					54	7.7	0.8
田村市常葉町山根	(32km西)	3月23日 12:50	11,000	2,800	3,300					9.7	2.4	2.3
双葉郡広野町下北迫	(23km南)	3月23日 13:00	69,000	2,100	2,600					30	1.9	14.0
伊達郡川俣町山木屋	(40km西北西)	3月25日 15:35	73,000	15,000	18,000					220	18	7.0
双葉郡川内村上川内	(22km西南西)	4月4日 12:04	5,500	1,500	1,800					7.8	1.3	0.8
双葉郡浪江町赤字木柗平	(24km北西)	3月30日 15:40	340,000	170,000	170,000					1,500	250	59.3
双葉郡葛尾村	(25km西北西)	4月8日 12:41	13,000	8,300	9,700					13	2.2	1.7
南相馬市原町区	(30km北北西)	4月8日 13:52	3,500	9,300	11,000					15	2.1	3.5

2. 環境試料の測定結果

測定試料採取点		試料名	種類 又は部 位	採取日時 (測定日時)	放射能濃度(Bq/kg)								
					^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	$^{129\text{m}}\text{Te}$	^{132}Te	^{136}Cs	^{140}La	Sr	
												89	90
相馬郡飯舘村八木沢	(62km北西)	陸土	土壌	3月26日 12:00	564,000	215,000	227,000					1,100	120
南相馬市原町区高見町	(32km西)	陸土	土壌	3月21日 14:07	83,200	7,890	8,660					25	4.4
二本松市金色	(23km南)	陸土	土壌	4月3日 10:04	21,100	14,500	15,500					9.1	1.8

サブドレン核種分析結果

(データ集約：6/12)

採取場所	福島第一 1号機 サブドレン	福島第一 2号機 サブドレン
試料採取日	平成23年5月18日	平成23年5月18日
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	①試料濃度 (Bq/cm ³)
I-131 (約8日)	1.2E+00	3.0E+01
Cs-134 (約2年)	9.8E+00	2.3E+01
Cs-137 (約30年)	1.2E+01	2.8E+01
Sr-89 (約51日)	7.8E-02	1.9E+01
Sr-90 (約29年)	2.2E-02	6.3E+00

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。

※ I-131, Cs-134, Cs-137については、5月19日公表。

※ 分析機関：日本分析センター（Sr-89, 90）、東京電力（I-131, Cs-134, Cs-137）

(評価)

Sr-89, 90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

福島第一 1～4号機取水口内、2～3号機スクリーン 海水核種分析結果

(データ集約：6/12)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		福島第一 2号機スクリーン海水 (シルトフェンス内側)		福島第一 3号機スクリーン海水 (シルトフェンス内側)		②炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/L)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/L)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/L)	倍率 (①/②)	
試料採取日	平成23年5月16日		平成23年5月16日		平成23年5月16日		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/L)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/L)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/L)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	3,600	90	77,000	1900	5,800	150	40
Cs-134 (約2年)	16,000	270	18,000	300	62,000	1000	60
Cs-137 (約30年)	17,000	190	19,000	210	66,000	730	90
Sr-89 (約51日)	7,700	26	20,000	67	24,000	80	300
Sr-90 (約29年)	1,600	53	5,100	170	7,300	240	30

※ 炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ I-131, Cs-134, Cs-137については、5月17日公表。

※ 分析機関：日本分析センター (Sr-89, 90)、東京電力 (I-131, Cs-134, Cs-137)

(評価)

Sr-89, 90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。